

# 第1回小牧市地域包括支援センター運営協議会 議事録

## 日時

平成28年5月26日（木）午後1時30分～午後2時00分

## 会場

小牧市役所 東庁舎4階 本会議用控室

## 出席者（敬称略）

### 運営協議会

関本洋一、高木康司、福澤広、三宅やよい、伊藤俊幸、沖本榮作、  
宮崎正子、岩満賢次

※欠席：吉元寛子、田中秀治

### 事務局

舟橋健康福祉部長、山田健康福祉部次長、  
櫻井介護保険課長、高木地域福祉課長、西島地域福祉課長補佐、  
平野長寿福祉係長、鈴木主査

## 配布資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・（資料1）介護予防プラン作成委託業者の承認案件に係る持ち回り  
審議結果について
- ・（資料2）小牧市地域包括支援センターの平成28年度事業計画に  
ついて

【事務局】 それでは皆様、こんにちは。

定刻となりましたので、ただいまより平成28年度第1回小牧市地域包括支援センター運営協議会を始めさせていただきます。

本会議は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針、第3条の規定に基づきまして、公開とさせていただきます。

なお、本日1名の傍聴希望者がございましたので、御報告をさせていただきます。

会議に先立ちまして、本日、現在委員10名のうち7名の出席で過半数に達しておりますので、この会議が成立していることを報告させていただきます。

また、田中委員につきましては、事前に欠席の連絡をいただいておりますので、あわせて御報告をさせていただきます。

それでは、議事の前にお手元の資料を確認させていただきます。よろしくお願いたします。

事前にお送りさせていただいたものとしまして、次第が1枚、それから資料1として、介護予防プラン作成委託業者の承認案件に係る持ち回り審議結果についてという資料、それから資料2から資料2-4として、各地域包括支援センターの平成28年度事業計画についてということで配付をさせていただきます。

また、人事異動によりまして、小牧市保健センターの江崎委員から伊藤委員への異動がございましたので、新しい名簿を本日机上に配付をさせていただきます。よろしくお願いたします。

不足書類等がございましたら、事務局までお申しつけをいただきたいと思いますと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

(発言する者あり)

ありがとうございます。

それでは、初めに健康福祉部長の舟橋より御挨拶をさせていただきます。

【舟橋部長】 それでは、お忙しい中お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。また、日ごろは地域包括支援センターの業務に対しまして深い御理解をいただいておりますことを、ここで改めましてお礼申し上げます。

御存じのように、現在、国が地域包括ケアシステムの構築に向けまして、色々な方針を示しております。小牧市におきましても、本市に即した地域

ケアを進めるために地域ケア会議、小牧市におきましてはこれを地域支え合い会議と呼ぶことにしておりますが、この取り組みにつきましても、各地域包括支援センターが主体となって進めていただいております。

小牧の地域包括支援センターにおいては、介護予防、相談業務など最前線として日々知恵を絞り、現場に向かい、また将来のあるべき姿に向かって取り組んでいただいております。

本日は、平成28年度の第1回の地域包括支援センター運営協議会としてお集まりいただきました。委員の皆様がそれぞれのお立場で高齢者福祉にかかわっていただく中で、地域包括支援センターの現状や課題を共有していただき、今後の地域包括支援センターの役割をともに考えていただく場にしたいというふうに考えておりますので、よろしくお祈りを申し上げます。

そして、本日は運営協議会の後に、各包括支援センターごとに時間を区切りまして意見交換会を予定しております。各地域包括支援センターの事業展開において、意義あるものとなることを御祈念申し上げまして、簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。よろしくお祈り申し上げます。

**【事務局】** それでは、これより会の進行を岩満会長にお願いいたします。会長、よろしくお祈りいたします。

**【岩満会長】** では、本日もどうぞよろしくお祈りいたします。長い時間となりますが、御協力いただけたらと思います。

では、早速ではございますが、本日の次第のほうに入らせていただきます。

本日の次第といたしましては、1. 報告事項が2件、2. その他が予定されております。よろしくお祈りいたします。

それでは、お手元の次第に従いまして進めさせていただきます。

次第の1-1、介護予防プラン作成委託業者の承認案件に係る持ち回り審議結果について、事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】** 介護予防プラン作成委託業者の承認案件に係る持ち回り審議結果についてでございます。資料1をごらんください。

通番によりまして、168番から裏面173番までの居宅介護支援事業所について、平成28年1月28日に開催いたしました平成27年度第3

回運営協議会以降から、平成28年4月22日までの間に持ち回り審議により委員の皆様へ承認を求めさせていただきまして、特に御異議ございませんでした。よって、この6件につきまして、持ち回り審議により御承認いただいたことをここに御報告をさせていただきます。以上でございます。

**【岩満会長】** ありがとうございます。

この件につきまして、何か御確認されたい事項等ございますでしょうか。事前に既にいただいているようでございますので、よろしいでしょうか。

(挙手する者なし)

特にないようですので、次第2. 小牧市地域包括支援センターの平成28年度事業計画について、事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】** それでは、引き続きまして次第の2. 小牧市地域包括支援センターの平成28年度事業計画についてということでございます。

資料がたくさんございます。資料の2と、それから資料の2-1から2-4まで、順に小牧、味岡、北里、篠岡と、今日の意見交換会の順となっております。

この後の意見交換会の方に時間を割きたいと思っておりますので、こちらにつきましては、簡単な説明となります。よろしくお願ひしたいと思ひます。

それぞれ各包括ごとに事業の目的、基本方針、職員の配置、事業内容がそれぞれ記載してあります。それぞれ地域性ですとか、これまでの取り組み状況などがございますが、特にそれぞれ各包括ごとに太線で囲ったところがございますが、こちらにつきましては、各包括の独自と申しまししょうか、特色の出ているところだというような形で太線で囲わせていただいております。

実際、基本的に包括の目的、事業内容というのは4カ所同じでございますので、ベースとしては同じになってまいりますけれども、それぞれにやはり地域性ですとか取り組み状況、住民の方もそれぞれ違いますので、やはり若干の特色と申しますか、そういったものが出てきているということでございます。

これはある意味、いい意味で捉えていただきまして、またこの後の意見交換のほうで御参考にしていただければよいかと思っております。

A4横書きの資料2のほうでございまして、こちらにつきましては、各地域包括支援センターの事業計画のうち、基本方針、介護予防ケアマネジ

メント、認知症地域推進員の実施状況、独自の重点的な取り組み事項というような部分についてを抜粋いたしまして、各地域包括支援センターを縦に並べさせていただいて、少し比較がしやすいように改めて作成したものでございます。

それぞれ4つのところでございます。基本方針ですとかケアマネジメントのあたりにつきましては、基本的な部分でございますので、格段の特色というのはそれほど感じないかもしれませんが、やはり独自の取り組みの部分ですとか、そういった部分については、言葉の表現はいろいろあろうかと思えますけれども、それぞれの包括の思いを含めた取り組み状況ということで記載をしております。

こういった資料2と資料2-1、2-2、2-3、2-4、それぞれの包括ごとの資料をもとに、この後の意見交換会、それぞれの包括につきまして、改めてまた御参考にさせていただくようお願いを申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、この資料の説明とさせていただきたいと思えます。よろしくお願いをいたします。

【岩満会長】 ありがとうございます。

この件につきまして、委員の皆様方から何か御質問や御意見等ございますでしょうか。

お願いいたします。

【三宅委員】 認知症サポート医とか認知症疾患医療センターというのは、具体的には市内でどういったところが上がってきているのか、例えば圏域ごとにちょっと言っていたらと。申し訳ございません、勉強していません。

【事務局】 認知症の医療機関ということの御質問でございます。

市内では、医療機関の先生方がそれぞれに研修等を受けられて、そういったサポート医、それから対応のかかりつけ医ですね。向上研修を受けていただいた方で、圏域ごとで例えばこちらで御指名をして受けていただくということではなく、それぞれのドクターの先生方がそれぞれの考え、思いでその研修を受けていただいております、今現在でサポート医の先生が小牧市内で7名、これは圏域ごと云々ではなく市内で7名ということ、それからかかりつけ医の研修を受けていただいた方が29名ほどかと思えます。関本先生が該当しておみえになられますので、そんな状況でございます。愛知県の医師会のホームページのほうに各医療圏域ごとに、医師会

ごとといたしますか、お名前が載っております。以上でございます。

【関本委員】 今の認知症サポート医の補足なんですけれども、これはもう6、7年ぐらい前からですかね。認知症サポート医研修を厚労省が主体して、全国数カ所で行い始めたんですね。僕は名古屋でちょうど会場があったときに受講したときには全国30名とか、そんなぐらいの定員なんです。それを各地でやっていっているんですけどね。北海道から来ていた先生もありましたし、最初のころは。

僕はちょうど名古屋でやったので、2日間連続、朝から晩までずうっと連続で、終わりますと一応修了証書をもらいまして登録するんですよ、厚労省に。ホームページに載せていいかどうかということで。載せない先生もいるかもしれませんが、もうちょっと多いかもしれません。一応小牧市は初め1人か2人しかいなかった。今6、7名に増えてきました。

それから認知症かかりつけ医というのは、県の医師会が主体に講習会をやっている。これは割合時間的にも短いですので、受けやすいし、修了しやすいということでかなりの先生が、これは県の医師会がやっている。これも公表していいかどうかというのは本人次第で、愛知県の医師会にもホームページがありますので、そこを見てもらうと医療機関が全部載っております。了承されたところだけですね。以上です。

【事務局】 認知症の医療疾患センターの御質問に回答しておりませんでした。

尾張北部におきましては、春日井市のあさひが丘ホスピタルの方が、この疾患医療センターとして平成26年度に県の指定を受けまして、春日井医師会、小牧医師会、尾北医師会、岩倉医師会と、この4つの医師会の管轄ということであさひが丘ホスピタルが認知症の医療疾患センターということで運営をしていただいております。

【三宅委員】 尾北圏域という感じですか。

【事務局】 そうですね。尾張北部医療圏域ということで、それぞれ医療圏域ごとに疾患医療センターが認定された状況になったところから、順次いろんな市民向けの講演会ですとか、特に医療の関係ですとか、いろんな形で、特に多いのは、専門職の研修というのが大体年間3回ぐらいですね。どんな方でも出られるようなフォーラム的なものを年1回ほど開催しております。

4つの医師会の医療圏域になりますので、昨年のフォーラムについては、

春日井市で行われました。今年度は小牧市が一応当番ということで、11月に市民向けのフォーラムを開催する準備で、あさひが丘ホスピタルが中心に今準備をしております。

なかなか大きな会場が必要なことになりますので、圏域は広うございませうけれども、どうしても春日井市とか小牧市あたりの開催が中心になるというのも若干現状ではございませうが、一応そんな状況で、春日井市でも大分坂下よりももう少し向こうに行って国道19号からは見えるんですけども、小牧から行きますと、東部の工業団地のところから国道19号へ抜けるほうですね。山を越えて抜けるところの国道19号を出る手前ぐらいにありますので、そんなような位置のところのあさひが丘ホスピタルが医療センターということで認定をされ、その圏域での運営を中心に行っているというふうにございませう。以上です。

【岩満会長】 ありがとうございます。

そのほか、何かございませうでしょうか。

(挙手する者なし)

私の方から1つよろしいでしょうか。

資料2の裏面といたしましうか、平成28年度小牧市地域包括支援センター事業計画の介護予防ケアマネジメント事業のところ、味岡地区と北里地区の書いてあることがほぼ一緒ですが、これは出てきたものが一緒だというふうに理解してよろしいでしょうか。

その次の認知症のほうも同じ味岡、北里とか一緒ですので、お願いします。

【事務局】 まず端的な理由から申し上げますと、この味岡と北里につきましては、同じ社会福祉法人が経営しておりますので、いわゆる根幹の事業につきましては、方針は同じということで、我々としても理解をしてこういう掲載をさせていただきます。

実際、独自の云々ということになってまいりますと、少し差は出ておりますけれども、状況といたしましては、そんな理由になります。以上です。

【岩満会長】 ありがとうございます。

では、そのほかいかがでしょうか。

【三宅委員】 もう1ついいですか。

【岩満会長】 どうぞ、お願いいたします。

【三宅委員】 すみませう。地域ケア会議、これってどれぐらい、昨年度

は全然やっていないんですか。つくるために活動しておるだけですか、実際には昨年度は。大体でいいですけど。

【岩満会長】 よろしくお願ひいたします。

【事務局】 地域ケア会議、先ほどの説明の中では支え合い会議ということで、小牧の方は表現をしてございますが、一番の支え合い会議のもとというのは、個々のケースの会議でございます。Aさんがこういった状況にある。それに関係する方が一堂に会してどういう支援をしていこう、どういう状況だ、ここからどういうことが考えられるかという、そういったケースの会議がまず大もとにございます。これはもうケースが発生した段階、それから状況が変わった場合というところでそれぞれの包括ごと、直接の本当の関係の方が一同に会していただいて対応をするための、支援をするための会議を開いていただいております。

それを踏まえて、例えば地域的な課題があるとか等々、それぞれの圏域ごとで地域ケア会議というものを大体年に3回、4回程度はそれぞれの包括のほうで課題なり、題材をピックアップしながら圏域単位での支え合い会議を開催していると、こういう状況でございます。以上です。

【三宅委員】 ごめんなさい。そうすると、個別の地域ケア会議は実際にはまだやってないんですか。

【事務局】 個別のケア会議をたくさんそれぞれやっております。

【三宅委員】 いろんな職種がかかわって。

【事務局】 そこにはもう区長さんから民生委員さんとか、お医者さん、親戚、地域の方等々が集まって、それで個々のケースの会議をケア会議として行い、それが幾つか当然ケースごとにやりますので、それぞれのケースごとでやります。

例えば幾つかやってきた中で、まとめではないですけども、それぞれの中で、ああ、ちょっとこういうケースが続いているねですとか、多分いろんな課題ですとか、逆にこういうことがよかった云々とかというようなことがあれば、やはりそれを若干時期的に少しまとめながら、それぞれの圏域の中で包括を中心に圏域レベルでのケア会議を大体年に2回、3回、4回やって、これは若干差はあろうかと思いますが、ということで開催してもらっております。

【三宅委員】 そうしますと、個別の地域ケア会議というか、個別の件数で、通常ですと、余り個別のケア会議なんて開かないわけですよ。



【事務局】 通常、個別につきましては、個人の方、要はいろいろ地域でお困りになっているとか、例えばケアマネさんから来るとか、民生さんから来るとか、個人のほうからいろいろとあります。

【三宅委員】 いろいろ虐待とか、そういうちょっと困難事例ですよ。

【事務局】 そういった形では随時やれるものについては、先ほど高木のほうが申しましたように、メンバーも必ず固定ということじゃないもんですから、関係する人がお集まりして、またそこでその人の対応と、そこから見えてくるものは地域の課題ということを取り上げまして、それをまとめたものをある程度、圏域ごとに持ち上げてやっているという形で今進めております。

【三宅委員】 実際、昨年、個別のそういう困難事例みたいな感じの地域ケア会議というのは、どれくらいの件数があったんでしょうかと。

【事務局】 ちょっと今、件数は把握してないんですけど。

【三宅委員】 大体でいいんですけど。

【事務局】 10件前後とかあると思います。ちょっと数ではいろいろなケースがあります。1桁から10件近くぐらい。

【三宅委員】 多いと10件ぐらい。

【事務局】 それくらいだったかと思います。

【三宅委員】 少ないと数件。

【事務局】 この後の意見交換会で聞いていただくといいと思います。

【三宅委員】 はい、わかりました。すみません、ありがとうございます。

【岩満会長】 そのほか、よろしいでしょうか。

まだこの後続きますので、また改めて御質問いただいたらと思いますので、では、予定されていた次第については終わりましたので、委員の皆様、その他ないようでしたら、事務局のほうにお返しいたします。お願いします。

【事務局】 委員の皆様、御審議ありがとうございました。

これを持ちまして平成28年度第1回小牧市地域包括支援センター運営協議会を終了させていただきます。

本日はお忙しいところ、大変ありがとうございました。